

市長の政治姿勢と施政方針について

景気の良しあしが市の財政力を左右する。市民所得の向上と働く場所がなければ魅力あるまちとは言えない。U・J・ターンも難しい。厳しい都市間競争に打ち勝つためにも財政力のアップと働く場所の確保が大切。起業や企業誘致は重要な施策である。

定期的にさんしん経済研究所の説明を受け、意見交換をしている。全体の景況感としては、マクロの状況から判断せざるを得ない。リーマンショック直後の手痛い状況から地元企業の頑張りによって回復し、全体の売上高もすでに上回っている。引き続きこの堅調な動きを後押しすべく具体的アクションを起こしていきたい。価格決定力、仕事量の確保を産業振興の柱としている。起業や既存の業態以外にも選択肢を示していくために、新たな業態の企業誘致にも取り組んでいきたい。工場の祭典では地域外から雇用に成功しているところもあり、連携するほうが効果的な分野もあると思うので柔軟に考えていきたい。

小中一貫教育と一体校型小中一貫教育の検証をすべきでは！

今年度から「学びのマルシェ一番星事業」を始めた。小中一貫教育や一体型教育をいったん振り返り、検証しないと成果も分からなくなるのではないかと。文部科学省の研究委託事業として検証を進めている。

除雪の安全対策を講じて！

屋根雪処理対策のため、転落防止や器具の装着の仕方など安全講習会の開催や器具購入の補助をしてはどうか。

作業は複数人で行うなど注意喚起を図っていく。講習会はやらない。器具購入の補助は考えていない。

ものづくり拠点施設、地域の広場的な施設へ！

4月に開所となるが、貸し館機能が強い。地域や子どもたちが自由に使える配慮をしてはどうか。体育館は多目的ホールと位置付けており、地域行事や自治会等できひ利用してほしい。

戦後70年の今年、市主催で平和の取り組みを！

市がこれまでやってきた被爆体験講話や中学生の広島平和集会へ行った記録を市民に公開するなど平和の大切さを伝える取り組みをしてはどうか。市主催の集会等の事業は行わない。

市民アンケートについて

なぜ実施しなかったのか。市民満足度調査でおおむね把握できたかと判断した。予定していたことを実施しなかったのであるが、議会に報告は必要ないと判断したのか。市議会に報告する必要はないと考えた。

学校給食の牛乳問題について

学校給食の当事者は。児童・生徒であり提供する教育委員会と認識している。校長、教職員、保護者へのアンケートの収集は。アンケートは予定していない。校長からは学校訪問で意見を聞いて

いる。教職員からはこれから聞くことにしている。

牛乳廃止に関するネットの反応に関して。

信びよう性は極めて薄いと考える。

給食調理員のノロウイルス感染について 嵐南調理場のノロウイルスの責任の所在は。個人の責任と考える。

学校の統廃合について

学校統廃合の当事者は誰か。児童・生徒を第一と捉えている。

一般国道289号八十里越の観光用道路および広場の設置について

豊かな自然に恵まれた地域で、特に秋の紅葉は日本一の景観とされており、下田をよみがえらせるためにも、工事用道路の接続と車を止めて周辺を楽しむことができるよう国土交通省に要望していくべきと思うがどうか。豊かな自然を満喫できるように広場、散策道を整備していきたい。

布施谷川排水路および吉津川の内水氾濫対策について

布施谷川排水機場の運転業務について、土地改良区との協議はどうなったのか。

土地改良区と協議したが、現状ではなかなか手が回らないとの話もあり、一元管理の必要性については理解いただいております、引き続き協議してまいります。

地方創生について、山の宝を世に出せませんか

植林後60年が経過して伐採の時期にきており、山の木を世に出すことにより花粉対策にもなり、災害対策にも雇用促進にもつながると思うがどうか。

バイオマス発電事業の推進を提案しており、新規雇用促進にもつながることから、まず山の木を運び出すプラットホームづくりについて協議している。



将来都市像と基本計画の少子高齢化、人口減少社会に対する諸施策について

実学系ものづくり大学の設置場所は新幹線・燕三条駅付近が適地でないか。この周辺は将来、県央基幹病院も整備され、病院の関係者や専門知識を持った人たちが行き交う広域交流や文化、産業支援など高次都市機能の集積が期待される。

来年度設置する開設準備室で課題や各種情報を分析し、負担などを整理する中、同時に立ち上げる検討委員会ですまざまな条件を加味して、まず設置が誘致かを決めないと難しいと考える。

現在、要介護度3以上の認定者を在宅で介護している介護者に月額5000円の介護手当が支給されているが、燕市では要介護度5の介護者に月額1万7000円の県内トップの支援を行っている。燕市を念頭に三条市の支給額を見直しはどうか。

平成19年度から一律5000円として現在に至っている。後期高齢者人口が増えている中、これら事業の継続に努めていきたい。

三条市中央公民館について

三条市中央公民館は生涯学習の場として市民ニーズに十分応えているのか。社会教育法の縛りをなくしたらどうか。今年度、公民館の使用緩和について検討した。9月から新しい使用基準で行っている。当面はこの基準で運用する。



中央公民館

子どもの安全確保について

2月20日に発生した川崎市中学1年生殺害事件を捉えて、学校、地域、保護者、大人一般の各主体が

無電柱化について

せめて中央商店街通りを無電柱化できないか。歩車共存の観点で今後の検討課題とさせていただきます。



無電柱化されている道路